

平成30年12月14日
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
敦賀事業本部

「もんじゅ」燃料体取出し作業の状況について（続報）

12月9日（日）、57体目の燃料体取出し作業を実施中、模擬燃料体を炉外燃料貯蔵槽（EVST）に移送するために、燃料出入機本体Aにより地下台車にある模擬燃料体をつかむ際、21時22分頃に「本体Aグリッパつかみ・はなし異常」警報が発報しました。

その後、手順に従い、燃料出入機本体Aグリッパの動作確認を行ったところ、再度、同様の警報が発報したことから、当該グリッパを洗浄することとしました。このため、燃料体取出し作業を中断しました。

原因は、当該グリッパにナトリウムが付着しているためと推定しております。

洗浄後、動作確認を実施し、当該グリッパが円滑に動作することを確認したことから、本日、中断していた57体目の燃料体取出し作業を再開しました。

以上